

報道関係各位
Press Release



2026年3月27日
コグニティ株式会社

【5回連続公開】トランプは何をどう正当化したのか？ イラン攻撃開始から終焉宣言まで全文構造をAI解析

ニュースでは見えない“トランプの本音”を独自の特許技術・知識表現AIで全文解析

知識表現AIを用い、会話・文章情報から組織課題を可視化するコグニティ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役：河野理愛、以下「コグニティ」）は、トランプ氏によるイラン攻撃開始から終焉宣言までの一連の発言を対象に、5回連続の分析コンテンツ公開を開始いたします。

本企画では、ニュースで繰り返し引用される一部の強い言葉だけではなく、演説全体を通して本当に何を語っていたのかを、構造レベルで俯瞰して解説します。印象的な一節だけを切り出すのではなく、話題の順序、主張の置き方、説明の厚み、繰り返し強調された論点までを確認することで、発信内容をバイアス少なく読み解くことを目指しています。これは、コグニティが掲げる「技術の力で、思考バイアスなき社会を。」というパーパスに基づく取り組みです。人は限られた情報や印象的な断片に引っ張られて判断しやすいからこそ、発言全体を構造として捉え直す必要があります。コグニティは既存リリースでも、思い込みを排し、構造を可視化することの必要性を明示しています。



「一の巻、巻」動画URL：<https://youtu.be/-fD5wur8zQQ>

■ 背景：強い一言だけでは、発言の全体像は見えない

国際政治のように緊張度の高い局面では、政治指導者の発言は瞬時に報道され、短いフレーズが繰り返し拡散されます。しかし、実際の演説はその一言だけで成立しているわけではありません。何を前提に置き、どの論点を先に出し、どこで正当化し、どこで感情に訴えたのかによって、受け手の理解は大きく変わります。にもかかわらず、多くの場合は「過激だった」「強硬だった」「挑発的だった」といった印象論で語られがちです。これでは、発言の構造そのものは見えません。コグニティは、こうした情報の受け取り方に潜むバイアスを減らすため、発言の全体構造を定量的に読み解くシリーズ企画として、今回の分析を公開します。

コグニティの技術は、生成AIのように文章を大量生成するものではなく、文脈の構造を抽出し、話題間の関係性を数値化することに特化した“知識表現AI”です。既存リリースでも、LLMとは異なるレイヤーの技術として位置づけています。

■ 企画概要：トランプ氏の発言を5回連続で公開

今回のシリーズでは、トランプ氏がホワイトハウスから発表した関連動画をもとに、攻撃開始時から終焉宣言までを5回に分けて分析します。単発の切り取りではなく、時系列で何が変わり、何が一貫していたのかまで追う構成です。

各回の対象と公開スケジュールは以下の通りです。

・一の巻1

対象日：2月28日

対象内容：Military Major Combat Operations in Iran

公開日時：3月27日（金）20時15分

動画URL：<https://youtu.be/-fD5wur8zQQ>

・一の巻2

対象日：3月2日

対象内容：Operation Epic Fury Update

公開日時：3月27日（金）20時30分

動画URL：https://youtu.be/IYzA_6k-n4Q

・一の巻3

対象日：3月3日

対象内容：an update on Operation Epic Fury

公開日時：3月27日（金）20時30分

動画URL：<https://youtu.be/jR92FpQWln0>

・一の巻4

対象日：3月11日

対象内容：Putting An End To All Of This Threat

公開日時：3月29日（日）18時30分予定

動画URL：公開日に発表

・一の巻5

対象期間：2月28日～3月11日

対象内容：全4演説の時系列比較分析

公開日時：3月29日（日）18時45分予定

動画URL：公開日に発表

このうち第1回では、2月28日に発表された「Military Major Combat Operations in Iran（攻撃開始宣言）」を取り上げます。最初の発信でトランプ氏が何を最重要論点として置いたのか、軍事行動をどう位置づけ、何をもちて正当化しようとしたのかを解説します。

■ 第1回の見どころ：“何を始めたか”ではなく“なぜ始めたと言ったか”を読む

第1回で扱うのは、イラン攻撃開始時の初回スピーチです。ここで重要なのは、単に攻撃開始を告げたことではありません。トランプ氏がその行動をどのような論理で語り、どの対象に向けて、どの順番でメッセージを組み立てたのかにあります。初回スピーチでは、脅威の強調、核保有阻止の正当化、自国側への配慮、相手国の将来への言及など、複数の論点が配置されていました。つまり、ニュースで切り取られやすい刺激的な表現だけではなく、実際には正当化のための説明や、受け手の納得を促すための構造が組み込まれていたことが見えてきます。

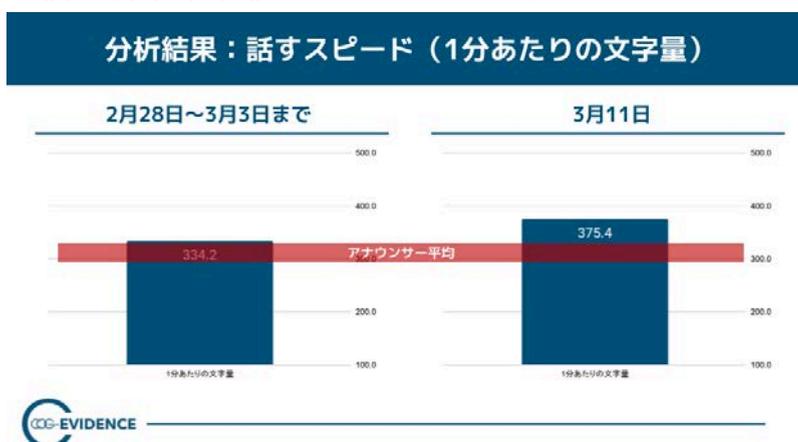
コグニティは、こうした構造を“印象”ではなくデータとして扱います。既存リリースでも、話し方や伝え方を感覚ではなく構造データとして可視化するプロセスを提供してきました。

一の巻、巻の分析対象動画：<https://youtu.be/o-E7Dlctrzo?si=J4liTJXxlj1Zj7KG>

■ 今回の発表意義：「本当に何を言っていたのか」を俯瞰できる状態をつくる

この企画の目的は、政治的立場を評価することではありません。ましてや、一部の発言だけを抜き出して煽ることでもありません。あくまで、演説全体を確認したときに、発信者が何を中心に据え、何を説明し、何を繰り返したのかを見える形にすることです。報道やSNSで接する断片情報だけでは、受け手はどうしても印象の強い部分に判断を引っ張られます。だからこそ、コグニティは「全文を俯瞰する」「構造で捉える」「思い込みを減らす」という立場から、このシリーズを公開します。

これは政治分野に限った話ではありません。企業の危機対応コメント、謝罪会見、IR発信、経営トップの方針説明などでも同じです。何を言ったかだけでなく、どう組み立てたかを見ることで、発信の意図や説得構造はより正確に理解できます。



■ 技術背景：生成AIとは異なる“知識表現AI”で構造を解析

コグニティの分析技術は、知識工学・認知科学を基盤とする独自アルゴリズムによるものです。生成AIのように文章を作るのではなく、文脈の構造を抽出し、話題間の関係性を数値化することに特化しています。少量データでも個人の思考傾向を分析できる点が特徴であり、既存リリースでもその技術的立ち位置を明示しています。[09]

また、コグニティは既存リリースにおいて、「思い込みを排し、構造を可視化する技術が必要」との考えを示しています。今回のシリーズも、その思想を社会的なテーマに拡張した取り組みです。

■ 今後の展開

コグニティは今後も、注目度の高い発信や重要局面でのスピーチを対象に、印象論に依存しない分析を進めてまいります。社会の中で大量に流通する言葉を、断片ではなく構造として読み解ける状態をつくることは、情報環境におけるバイアス低減の一步だと考えています。

今回の5回シリーズでは、攻撃開始から終焉宣言までを追うことで、発信内容の変化、一貫した論点、説明の厚みの変遷までを明らかにしていきます。コグニティはこれからも、定性情報の定量化技術を通じて、判断の質を高める情報の見方を社会に提示してまいります。

■ トライアルのご案内：Baseline Review機能

コグニティは、会話・文章などの定性データを、独自の構造化技術により「改善に使える指標」と「行動に落ちる示唆」に変換する分析サービスを提供しています。商談・会議・社内共有・研修・顧客対応・IRなど、目的に応じてコミュニケーションの“伝わり方”と“成果につながる要因”を可視化し、改善の優先順位と打ち手を提示します。

その入口として、短期間で現状の課題と改善の方向性を把握できる「Baseline Review（お試し）」を5万円（税別）で2026年1月27日にリリースいたしました。個人・組織の力量を確かめるため、パフォーマンスが良いトーク/悪いトークの違い（構成・論点の置き方・説得の流れ等）や最終版の再レビュー（Before/After比較）として、録画・音声・書類等を2本ご提出いただくことで、分析結果とブリーフィング1時間でフィードバックします。（個人利用の場合は、ブリーフィングに代わりメールもしくはオンラインセミナーにて実施）



**組織判断は、
感覚で決めない。**

Baseline Review提供開始
2件までの個別検定+意思決定ブリーフィング

AI比較・改善シミュレーション

会議・商談・1on1・チャット・報告書
組織のリアルを定量化、要因抽出から成果検証まで。

月30社^{限定}
初回5万円^{税別}

申込ページ：<https://cognitee.com/baseline-review-cog-evidence>

【コグニティ株式会社 会社概要】

- 社名：コグニティ株式会社
- パーパス：技術の力で、思考バイアスなき社会を。
- 事業内容：定性情報の定量化技術を使った組織分析サービス
- 本社：〒140-0015 東京都品川区西大井一丁目1番2-208号
- 設立：2013年3月28日
- Web：<https://cognitee.com/>
- 資本金：6億円（準備金含む）
- 従業員：71名（リモートワーカー含む）
- 代表者：代表取締役 河野 理愛
- 受賞歴他：
 - EY Innovative Startup エンタープライズ部門受賞(2019)
 - 第11回 HRアワード 人材開発・育成部門 最優秀賞(2022)
 - 第22回 一般社団法人日本テレワーク協会 テレワーク推進賞 優秀賞受賞(2022)
 - 第3回 TOKYOテレワークアワード 推進賞(2023)
 - 一般社団法人生成AI活用普及協会協議員(2023～)

本件に関するお問合せ
コグニティ株式会社 広報担当：奥井
Email: okuinagisa@cognitee.com TEL: 03-4212-8445